

平成24年 県政の軌跡

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III 新しい県政の運営方法の導入	2
IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	
1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり	3
2. 明るく元気な社会づくり	4
V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	
1. 少子化対策の充実	6
2. 福祉の充実	6
3. 健康わかやまの実現	6
VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山	
1. 商工業の振興	7
2. 農林水産業の振興	9
VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	
1. 観光の振興	13
2. 誇れる郷土づくり	14
3. 環境・自然の保全	16
VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	
1. 防災・減災社会の実現	17
2. 暮らしの安全・安心	18
IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	
1. 交通ネットワークの充実	19
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	20

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	就任1年目 (H18.12.19～H19.11.30)		就任2年目 (H19.12.1～H20.11.30)		就任3年目 (H20.12.1～H21.11.30)		就任4年目 (H21.12.1～H22.11.30)		就任5年目 (H22.12.1～H23.11.30)		就任6年目 (H23.12.1～H24.11.30)	
○県内から県庁を訪問して 下さったお客様	223	グループ	206	グループ	194	グループ	237	グループ	291	グループ (義援金44グループ)	216	グループ
○県外から県庁を訪問して 下さったお客様	112	グループ	81	グループ	198	グループ	78	グループ	93	グループ (義援金15グループ)	100	グループ
・国機関関係	35	グループ	24	グループ	28	グループ	14	グループ	26	グループ	31	グループ
・外国関係	18	グループ	7	グループ	16	グループ	11	グループ	17	グループ	17	グループ
○式典・大会出席挨拶	227	回	274	回	312	回	357	回	266	回	370	回
○講演・シンポジウム	20	回	18	回	22	回	54	回	30	回	27	回
○県内各地への出張回数	79	回	103	回	89	回	133	回	126	回	137	回
○県外各地への出張回数	66	回	78	回	68	回	51	回	69	回	65	回
・東京	24	回	32	回	26	回	20	回	28	回	19	回
・大阪	31	回	28	回	22	回	14	回	24	回	27	回
・他府県 (東京、大阪を除く)	10	回	17	回	18	回	17	回	17	回	19	回
・外国	1	回	1	回	2	回	2	回	2	回	2	回
	(中国)	(スペイン)	(イタリア・フランス、ブラジ ル・ペルー)	(トルコ・中国)	(中国・アメリカ)	(香港・シンガポール、デン マーク・スペイン)						
○公用車の走行距離	23,889	Km	23,104	Km	23,773	Km	25,344	Km	25,373	Km	27,000	Km
○県内各界要人との懇談	24	回	33	回	26	回	35	回	28	回	19	回
○県内企業訪問	15	回	27	回	17	回	4	回	5	回	8	回
○国の要人との政策議論・ 要望	32	項目	51	項目	60	項目	30	項目	45	項目	43	項目
	75	回	66	回	62	回	31	回	89	回	62	回
○企業首脳トップセールス	41	回	60	回	32	回	25	回	38	回	34	回

Ⅱ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

○ 公共調達制度改革

実情に応じて新公共調達制度の見直しを実施

- ・ 入札参加資格審査において、入札に関して、職員に脅迫的な言動をする者又は暴力を用いる者などを不良不適格業者として排除を行う。(12月～)

Ⅲ 新しい県政の運営方法の導入

○ 知事が直接県民の皆様と意見交換する「和歌山県行政報告会」を開催 (平成24年実績:19回)

- 「新行財政改革推進プラン(改訂版)～持続可能な県政へ～」策定(3月)
新行革プランに引き続き、平成24年度から28年度までの間に行財政改革に取り組む。
 - ・ 職員数の見直し ▲350人 (平成24年 ▲124人)
 - ・ 事務事業の一層の見直し ▲120億円

○ 組織改正(4月)

- ・ 紀の国わかやま国体開催に向けた体制の強化
競技力向上をはじめ国体の開催準備を推進するため、組織を拡充
- ・ 児童虐待への対応強化
子ども・女性・障害者相談センターに「虐待対応課」を設置し、通告受理から施設入所・在宅支援まで一貫して支援する体制を構築
- ・ 農林水産関係試験研究の強化
農林水産総務課に試験研究を統括する「研究推進室」を設置

○ 人事異動(4月～)

- ・ 近隣府県との交流を推進 2府県・関西広域連合7名
- ・ 民間等との交流を推進 3団体3名
- ・ 中央省庁等への派遣を推進 1府6省4庁3団体及び山東省に20名
- ・ 県と県内市町村との人事交流を推進 11市町等23名
- ・ 大学院等への研修派遣を推進 5名

IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり

○「国際人育成プロジェクト」の実施

- ・平成23年 教員研修の実施、教材の作成
- ・平成24年 高校生による「英語ディベート大会」等の開催、児童生徒の海外留学支援制度の実施

○「親と子どものためのきらめき”夢”トーク」を開催(平成20年度～)

- | | | |
|-----|--------------------------|------|
| 2月 | 本田悦朗(財務省 政策評価審議官) | 橋本市 |
| 6月 | 小西博之(俳優) | 橋本市 |
| 9月 | 小嶋光信(和歌山電鐵株式会社 代表取締役社長) | 和歌山市 |
| 11月 | 池下章裕(スペースアートクリエイター) | 田辺市 |
| 12月 | 泊 幸秀(東京大学分子細胞生物学研究所 准教授) | 和歌山市 |

○和歌山さくら支援学校開校(4月)和歌山北高等学校開校(4月)、きのくに星雲高等学校開校(4月)

○近畿大学と和歌山の特性を生かした豊かで活力のある地域社会の形成と発展のための包括的連携に関する協定を締結(8月)

○第6回きのくにロボットフェスティバル2012を開催(12月)

○青少年自身がリーダーとなって地域の青少年を育成する循環システムを構築するための「リレー式次世代健全育成事業」を継続実施

○いじめ問題対策

- ・いじめ等の相談窓口の拡大(9月～)
「知事メール」「教育庁POST」で受付 メールアドレスを、全児童・生徒、保護者へ通知
- ・いじめの実態把握(県立学校、市町村立学校、私立学校においてアンケートを実施)
- ・「いじめ対応マニュアル」の作成、全教職員への配布(11月～)

2. 明るく元気な社会づくり

① 文化芸術の振興

- 文化の持つ力で、台風12号(平成23年9月)で被害を受けた地域を元気にするため、心の復興事業を実施(9月～12月)
- 県内で初、「那智の田楽」が、ユネスコの無形文化遺産に登録(12月)

② スポーツの振興

- 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会(平成27年)開催準備
 - ・ マスコット「きいちゃん」をデザインした募金付ピンバッチを製作・販売(3月)
 - ・ 国体イメージソングを全国公募(但し、和歌山にゆかりのある人)、応募作品136点から「明日へと」に決定(6月)し、レコード会社がCDを全国発売(9月)
 - ・ 公益財団法人日本体育協会理事会において、2015(平成27)年の第70回国民体育大会(愛称:紀の国わかやま国体)が和歌山県で開催されることが正式決定(7月)
会期は平成27年9月26日(土)から10月6日(火)までの11日間。
同時に、第15回全国障害者スポーツ大会(愛称:紀の国わかやま大会)についても、本県での開催が決定
会期は平成27年10月24日(土)から10月26日(月)までの3日間
 - ・ 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会開催決定記念イベントの開催(9月)
 - ・ 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会ダンスを創作し、DVDを製作・配布(11月)
- 第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」において、本県選手団は前年の43位から21位へと大きく躍進。
- 和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト
108名のゴールデンキッズを育成中
- 中高等学校の運動部を強化拠点として指定
中学校で43校96運動部、高等学校で28校74運動部
- 市町村立小学校の屋外運動場の芝生化を促進(平成20年度～)
新規に3校が実施し、計27校に

③ 国際交流の推進

○ スペインとの交流

- ・ 姉妹道提携を行っているガリシア州を訪問(7月)
- ・ ガリシア州の青年14名が来日し、熊野古道等の体験を実施(10月)

○ デンマークとの交流

- ・ クヌッセン機関長の故郷を訪問(7月)

○ ブルネイ王国との交流

- ・ 県内の青年11名を派遣し、現地の青年と交流(8月)
- ・ ブルネイの青年5名が来日し、和歌山大学の学生等と交流(12月)

④ 人権尊重社会の実現

○ 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結 13団体 計221団体

○ 幼児を対象とした「人権感覚を育てようプログラム」の普及

○ 紀州レンジャーズ試合会場における人権啓発活動(8月、9月)

V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

1. 少子化対策の充実

- 先天性代謝異常等検査の実施
- 紀州3人っこ施策

2. 福祉の充実

- 児童虐待防止対策の強化
 - ・ 親支援プログラムの拡充等
 - ・ 子ども・女性・障害者相談センターに「虐待対応課」を設置
- 高齢者等への助け合い活動を促進するため、住民グループ等による活動の立ち上げを支援
- 要介護者及び家族介護者の安心を確保するため、地域における緊密な医療と介護のネットワークづくりを支援
- 精神障害者アウトリーチの推進
医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士・作業療法士がチームで訪問

3. 健康わかやまの実現

- 地域医療支援センター(県立医科大学に設置)における支援
若手医師のキャリア形成支援等
- 日高看護専門学校開設支援
- 県立医科大学大学院保健看護学研究科博士課程の設置許可(12月)
- 県立医科大学付属病院の診療体制等の充実支援
- 運動習慣を身につけるために「紀の国わかやま1万人健康リレーウォーク」を開催
(5月～12月)

VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

1. 商工業の振興

- 企業立地の促進
 - ・ 平成24年1月以降新たに13社の企業立地が決定(詳細別紙)
- 企画・提案型のビジネスモデルを目指す産地企業の取り組みを、企画段階から販売促進まで3年間一貫して支援する「わかやま地場産業ブランド力強化支援事業」を実施
 - ・ 平成24年 採択 7企業、3グループ
- 先端的な技術開発・実用化への支援を行う「先駆的産業技術研究開発支援事業」を実施
 - ・ 採択実績:平成23年度 11社(2億円)→平成24年度 7社(1.1億円)
- 「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2012」を策定(4月)
- 首都圏での販路開拓を推進したい県内中小企業を支援するため、活動拠点となる「わかやまビジネスサポートセンター」を展開
 - ・ 6社入居
- 和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の推進
 - ・ 第4回プレミア和歌山推奨品及び審査委員特別賞を決定(2月)
 - ・ 首都圏の高級スーパーマーケットにおいてプレミア和歌山・特選グルメ販売コーナーを展開(9月～)
- 見本市等に出展
 - ・ ニューヨーク国際ギフトフェアに出展(1月、8月)
 - ・ 世界最大規模の消費財の見本市アンビエンテ(ドイツ・フランクフルト)に出展(2月)
 - ・ 国内最大のパーソナルギフトと生活雑貨の見本市「東京インターナショナルギフトショー」に出展(2月、9月)
 - ・ 機械要素技術展(東京)に出展(6月)
 - ・ 東京レザーフェアに出展(6月、12月)
 - ・ 日本商品直送in中国(上海)への出展(8月)
 - ・ アジア最大級の皮革見本市「オールチャイナレザーエキシビション」(上海)に出展(9月)
 - ・ 繊維国際見本市「ジャパン・ファッション・ウィーク・ジャパン・クリエーション」(東京)に出展(11月)

○ 商談会の開催

- ・ 和歌山新技術・新工法提案商談会inダイハツ工業(株)を開催(3月)
- ・ ゼネラルプロダクション(株)登録企業面談会を開催(7月)
- ・ 欧米向けテキスタイル輸出展示商談会を開催(7月)
- ・ 和歌山プロモーションinニューヨークを開催(8月)
- ・ わかやま産品商談会inオーストラリアを開催(10月)
- ・ わかやま産品商談会inturcoを開催(11月)

○ 中小企業向け融資制度の見直しを行い、中小企業者の資金繰りを支援

- ・ 借換資金である資金繰り安定資金の金利引き下げ(4月)
- ・ 県内中小企業者の新エネ・省エネ等への取り組みを支援する成長サポート資金(エネルギー政策推進枠)を創設(7月)
- ・ 平成23年台風12号災害復旧対策資金の取扱期間を延長(8月)
- ・ 中小企業者の経営改善・事業再生を推進するため、県・信用保証協会が中心となり「わかやま中小企業支援ネットワーク」を構築(9月)
- ・ 国の認定を受けた専門家の支援を受けながら経営改善や経営力強化に取り組む県内中小企業者を支援する資金繰り安定資金(経営力強化枠)を創設(11月)

○ 台風12号により被災した事業者の事業再開を支援する「地域企業等事業再開支援事業」を実施

- ・ 支援実績 184件

○ 「緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業」を実施

平成24年度事業計画(11月末現在)

緊急雇用

県	58事業	1,511百万円	987人雇用
市町村	224事業	1,172百万円	813人雇用
計	282事業	2,683百万円	1,800人雇用

2. 農林水産業の振興

① 農業・水産業

- 「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2012」を策定(4月)

- 県産品のトップセールスを実施
 - ・ 香港・シンガポール(5月)
 - ・ 梅(東京・大田市場)(6月)
 - ・ 桃(大阪市中央卸売市場)(7月)
 - ・ 首都圏JR有楽町駅前周辺で、みかん、柿、梅干し等の県産品をPRする「ココ・カラ。わかやまキャンペーン」を開催(11月)

- 商談会を開催
 - ・ わかやま産品商談会in大阪を開催し、408人のバイヤーが来場(2月)
 - ・ 香港・シンガポールで県産品商談会を開催(5月)

- 国内見本市等に出展
 - ・ 「ふるさと祭り東京2012」に出展し、県産品を販売した他、プレミア和歌山紹介コーナーも設置(1月)
 - ・ スーパーマーケット・トレードショー2012に出展、県内12業者が参加(2月)
 - ・ FOOD EX JAPAN 2012に出展、県内23業者が参加(3月)

- 百貨店等で和歌山フェア開催
 - ・ 藤崎百貨店(仙台)(1月)
 - ・ 山形屋百貨店(鹿児島)(2月)
 - ・ 伊勢丹新宿店(東京)(3月、5月、6月)
 - ・ 大丸梅田店(大阪)(5月)
 - ・ スーパーアピタ(名古屋2店舗)(6月)
 - ・ 大丸京都店(京都)(8月)
 - ・ 松坂屋本店(名古屋)(8月)
 - ・ 高島屋大阪店(大阪)(9月)
 - ・ ダイシン百貨店(東京)(10月)
 - ・ さいか屋横須賀店(神奈川)(11月)
 - ・ 京阪フレスト松井山手店(京都)(11月)
 - ・ 紀ノ国屋(東京他7店舗)(11月)
 - ・ 沖縄三越百貨店(沖縄)(11月)
 - ・ スーパーアピタ鳴海店(名古屋)(11月)

- 国際食品見本市等に出展
 - ・ 「SIAL(シアル)2012」に出展(フランス)(10月)

- 海外百貨店等で和歌山フェア開催
 - ・ 台湾(シティースーパー復興店他)(2月)
 - ・ シンガポール(伊勢丹、高島屋)(11月)
 - ・ 香港(一田「YATA」)(11月)

- 海外量販店等でプロモーション実施
 - ・ 台湾、シンガポール、香港、キルギス

- 食品メーカー等との協働
 - ・ サントリー系外食チェーン店「カフェ&バーフロント」全国165店舗で和歌山県食材フェアを開催(5～6月)
 - ・ Peach Aviationとのコラボで和歌山県産桃のPRイベントを開催(7月)
 - ・ ザ・キャピトルホテル東急での「秋の和歌山フェア」開催(9月)
 - ・ 首都圏の有名イタリアンレストランで和歌山の「素材力」を体験するフェアの開催(9月)
 - ・ 東京の有名ラーメン屋「麺や七彩」と老舗醤油蔵「角長」の「濁り醤」のコラボレーション。(10月)

- 航空機会社への食材採用
 - ・ ANA国際線ファーストクラス、空港内ファーストクラスのラウンジメニューに県産食材が採用(6月、9～11月)
 - ・ Peach Aviationの機内販売に県内産果実を使用したジェラートが採用(7～11月)

- わかやま農産物安心プラス事業を推進
 - 平成24年度認証 15団体、26品目(果樹11、野菜14、米1)

- 果樹産地ごとの課題に応じた生産対策をハード事業・ソフト事業で総合的に支援する「果樹産地再生緊急対策事業」を実施
 - 平成24年度実施 17箇所

- 業務用野菜の産地化を推進するため、6JAを支援

- 有害鳥獣対策
 - ・ ニホンジカの管理捕獲を実施(4～5月)

- 漁港の魅力的な情報を発信
 - るるぶ特別編集「わかやま 漁港 つれもて行こら」を3万部作成し、無料配布(11月)

② 林業

- 「わかやま森林と樹木の日」記念行事を開催(5月)

- 大消費地への販売促進
 - ・ 紀州材・家づくりフェアをイオンモールりんくう泉南で開催(2月、10月)
 - ・ 優良紀州材展を東京中央木材市場で開催(3月)
 - ・ 首都圏における紀州材の販路拡大のため、大紀州材祭を開催(10月)
 - ・ 国内最大規模の建材関連専門展示会「ジャパンホームショー」に出展(11月)

- 日本最大級の環境展「エコプロダクツ 2012」に「企業の森」を出展(12月)

VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

1. 観光の振興

○「和歌山県観光振興アクションプログラム2012」を策定(4月)

○ 国内の誘客を図る取組

- ・ 首都圏で「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン2012」を実施(1月、11月)
- ・ 「わかやま〇旅」ページに「三つ星旅」がオープンし、8つの〇旅が出揃う
- ・ 修学旅行・教育旅行の誘致をより一層推進するため「2012体験・学び・感動の修学旅行セミナー」を開催
東京(2月)、名古屋(8月)
※ 修学旅行誘致実績 12府県から39校、6,023人
- ・ 金環日食の中心線が和歌山を通過する事を契機にプロモーションを展開(4月～5月)
- ・ 本県出身の小西博之氏に「和歌山県ふるさと大使」を委嘱(6月)
- ・ 伊勢式年遷宮を契機に伊勢から熊野への誘客を目的として全国にプロモーションを展開(6月～12月)
- ・ JR西日本とタイアップし、西日本プロモーション(駅頭プロモーション・旅行会社訪問)を展開(6月～7月)(博多・広島・岡山・大阪・京都)
- ・ 首都圏女性人気サイト「オズモール」とタイアップし、「わかやま熊野ナイト」を東京都恵比寿で開催し、熊野の魅力を発信(9月)
- ・ 日本・アジア最大級の旅行展示会「JATA旅博2012」に出展(9月)
- ・ ジャイアントパンダの赤ちゃん「優浜」が誕生したことをきっかけに京阪神(大阪・神戸・京都・岡山)でパンダプロモーションを実施(10月～11月)
- ・ 「和みわかやま宿泊得々キャンペーン」(10月～)を展開
- ・ 県民総参加のおもてなし気運の醸成と誘客促進を図る「和みわかやまおもてなしキャンペーン」を展開(11月)
- ・ 熊野地域を全国にPRするため、熊野本宮大社(大斎原)でコンサートを開催(11月)
- ・ 冬期の誘客を目的に、冬こそ和歌山「ぽかぽか和歌山キャンペーン」を実施(12月～翌年3月)
- ・ 三県(奈良・三重)連携による世界遺産を活用した誘客対策(通年)
インターネット放送局「ニッポンアーカイブス」による映像配信(10月～)
世界遺産東京駅PRイベントを実施(11月)
- ・ 誘客を目的とした企業CSR活動による環境保全活動誘致のため、企業訪問(通年)・経済誌「週刊エコノミスト」掲載(10月)・環境展「エコプロダクツ2012」に出展(12月)を行い、企業CSR活動が増加

○ 海外からの誘客を図る取組

- ・ 現地プロモーション
韓国(5月、10月、12月)、中国(3月、6月、8月、9月、12月)、
マレーシア・タイ・シンガポール他(2月、5月、6月、8月、9月、12月)、
フランス・ドイツ・イギリス(3月、9月、11月)、スペイン(1月、7月)、
台湾(2月、8月、11月)、香港(2月、5月、7月、11月)、
オーストラリア(3月、10月)
- ・ 総合特別区域法に基づき、「高野・熊野」地域が特区として認められたことにより、県版通訳ガイドの登録制度を創設(7月)

2. 誇れる郷土づくり

○ 暮らしやすくにぎわいあふれる都市づくり

- ・ 商店街のコミュニティ機能強化支援事業実施 計10事業(12月末現在)
- ・ 「戦略的都市再生プログラム」に関するシンポジウム開催
(海南省:1月、和歌山市:2月)

○ 愛着の持てる元気な農山漁村づくり

- ・ 「わがまち元気プロジェクト」を展開 5プロジェクト
- △ 湯浅まちなか・にぎわい復興プロジェクト(湯浅町)(平成22~24年度)
- △ 古座川版エコツーリズムによる地域産業の創出(古座川町)
(平成22~24年度)
- △ ”食育のまち紀の川市”農業6次産業化プロジェクト(紀の川市)
(平成22~24年度)
- △ 熊野古道 ちかの”平安の郷”プロジェクト(田辺市)(平成23~25年度)
- △ ”有田川あらぎ島の景観保存と地域おこし”プロジェクト(有田川町)
(平成24~26年度)

- ・ わかやま版「過疎集落支援総合対策」を推進
 <過疎対策が進められている生活圏>
- △ シイタケを核とした産業振興で未来につなぐ集落づくり(寒川・日高川町)
 (平成23～25年度)
- △ 三川元気夢来プロジェクトで集落元気(三川・田辺市)(平成23～25年度)
- △ 芸術を核とした住民主役の集落づくり(真国・紀美野町)(平成23～25年度)
- △ ”露苗”の産地化で始まる新たな集落づくり(清川・みなべ町)
 (平成23～25年度)
- △ 交流(ヒト・モノ)から始まる元気集落づくり(佐本・大都河・すさみ町)
 (平成23～25年度)
- △ 棚田を活用した元気な集落づくり(西八幡・有田川町)(平成24～26年度)
- △ 畑わさびと保田紙で地域再生への挑戦(安諦・有田川町)
 (平成24～26年度)
- △ 川添「お茶と農園・レストラン」で地域に活力(川添・白浜町)
 (平成24～26年度)
- △ 色川茶で繋ぐ移住・交流の拠点集落づくり(色川・那智勝浦町)
 (平成24～26年度)

- ・ 「わかやま田舎暮らしセミナー」を大阪(9回)、東京(3回)、名古屋(2回)で
 開催
- ・ 現役世代の移住受け入れ促進のための起業補助制度を創設
 (採択:4件)

- 名所・景勝地の魅力を引き出すために、市町村に対しハード、ソフト面からの支援
 を行う「名所・景勝地魅力づくり事業」を実施
 - ・ 番所山を拠点とした臨海地域活性化事業(白浜町)
 - ・ 産湯海水浴場周辺地域整備活性化事業(日高町)

- 東京都内で、陸奥宗光シンポジウムを開催(12月)

3. 環境・自然の保全

- 「第3次和歌山県廃棄物処理計画」を策定(3月)
- 第11次鳥獣保護事業計画を施行(4月)
- 不法投棄対策として監視カメラを導入(6月)
- わかやま節電アクションプランを策定(夏期:6月・7月に改訂版、冬期:11月)
- 島ノ瀬ダム小水力発電所供用開始(9月)
- 再生可能エネルギー等を導入することにより、災害に強く環境負荷の小さい地域づくりを推進するため、「和歌山県地域グリーンニューディール基金」を造成(10月)
- 改訂版「和歌山県レッドデータブック」を公表(10月)
- 第24回「星空の街・あおぞらの街」全国大会を開催(11月)
- 日本最大級の環境展「エコプロダクツ2012」に出展し、和歌山県認定リサイクル製品を紹介(12月)

VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

1. 防災・減災社会の実現

- 県民を対象に、地震防災及び土砂災害をテーマとした防災啓発研修を紀の川市等で実施(2月、3月、5月、6月、7月、8月)
- 局地的な豪雨等による浸水被害軽減を図るため、海草及び西牟婁振興局に排水ポンプ車を各1台配備(3月)
- iPhone・スマートフォン用避難先検索アプリの提供開始(3月)
- 内閣府・中央防災会議が「南海トラフの巨大地震」の想定等を公表(3月・8月)
- 津波の避難場所に加えて、風水害の避難所についても安全レベル設定を実施(5月)
- 紀伊半島大水害を踏まえた既存ダム治水機能向上(6月)
水害への備えとして、ダムの利水容量を一時的に治水容量として有効活用する関西電力(株)との新たな協定を締結し、それに基づく運用を開始
- 国の新たな被害想定を受け、和歌山県地震・津波被害想定検討委員会を4月に設置。(6月・9月・12月に開催)
- ヤフーとの協定によりヤフーサイト地図上での避難先情報の提供開始(6月)
- 内閣府防災担当大臣の現地視察(6月・11月)
- 「まけるな！！和歌山パワーアップ補助金」により、最も急がれる避難路の整備等が市町村で本格化(6月)
- 「津波からの円滑な避難に係る避難路沿いの建築物の制限に関する条例」を制定(7月)
- 和歌山県津波避難訓練(7月)
沿岸18市町+古座川町で情報伝達訓練や避難訓練を実施(参加約2万人)
- 和歌山県防災会議開催(8月)
東日本大震災の教訓を踏まえて実施した「防災・減災対策の総点検」、紀伊半島大水害の経験を踏まえた災害対策本部体制の見直しなどを反映し、県地域防災計画を大幅に修正
- 災害対策本部の体制見直し(8月)
- 土砂災害警戒判定分布図をテレビ和歌山のデータ放送で供用開始(8月)

- 応急仮設橋設置訓練(9月)
近畿地方整備局、海上自衛隊、県、串本町、那智勝浦町において実施
- 市町村長を対象とした防災危機管理ラボを開催(10月)
- 「和歌山県避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のモデル基準」の策定
(10月)
- 「津波防災の日(11月5日)」記念津波防災講演会を開催(11月)
- 東日本大震災を教訓とした消防団員に対する安全管理研修会を開催(10月)
- 県婦人防火クラブ連絡協議会が岩手県婦人消防連絡協議会長・副会長を招き、
研修会を開催(12月)
- 防災総合訓練を全面的に見直した津波災害対応実践訓練を実施(12月)
職員参集訓練、災害対策本部運営訓練、災害情報収集分析システム(移動県庁)
の実証訓練、自衛隊、県警、海保、近畿地整等と連携した実践的な訓練を実施
- 国土地理院と「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結
(12月)
- 老朽化した4箇所のため池を整備
- 県内の消防団及び日高郡以南の津波浸水地域にある学校、社会福祉施設等にラ
イフジャケットを助成、配備
- 各種団体と防災に関する協定を締結
 - ・ 和歌山県専門士業団体連絡協議会と災害時の相談業務の支援についての協
定を締結(3月)
 - ・ 一般社団法人日本橋梁建設協会と大規模災害時における応急対策に関する
協定を締結(7月)
 - ・ 和歌山県管工事業協同組合連合会と水道施設の応急復旧についての協力協
定を締結(8月)
 - ・ 社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部と大規模災害時にお
ける応急対策に関する協定を締結(8月)

2. 暮らしの安全・安心

- 公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例を改正施行
(6月)
- 県警察「太地町特別警戒本部」により、太地町の捕鯨等をめぐるトラブル等防止の
ための警戒を強化
県警と海上保安庁で合同警備訓練を実施(8月)
- 脱法ハーブ等の薬物の濫用から県民の健康を守るとともに、健全な社会を実現す
るために「和歌山県薬物の濫用防止に関する条例」を制定、一部施行(12月)

Ⅹ にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

1. 交通ネットワークの充実

○ 道路網の整備

- ・ 国道480号(梨子ノ木バイパス)部分供用開始(1月)
- ・ 主要地方道上富田南部線(田辺市秋津町～下万呂)部分供用開始(2月)
- ・ 一般県道あけのぼり広角線(新宮市王子町～国道42号広角交差点)供用開始(3月)
- ・ 主要地方道御坊由良線(小引工区)供用開始(3月)
- ・ 一般県道西川原粉河線供用開始(3月)
- ・ 森林基幹道白馬線の開通(3月)
- ・ 京奈和自動車道紀北東道路 高野口～紀北かつらぎIC間供用開始(4月)
- ・ 町道大谷連絡線供用開始(4月)
- ・ 都市計画道路 松井石町線供用開始(4月)
- ・ 国道168号(日足道路)部分供用開始(5月)
- ・ 国道424号(清川災害)仮設道路の設置(5月)
- ・ 国道424号(滝頭拡幅)供用開始(7月)
- ・ 国道480号鍋谷峠道路のトンネル着工(8月)
- ・ 国道169号(竹原拡幅)供用開始(8月)
- ・ 一般県道三田三葛線(坂田工区)供用開始(9月)
- ・ 主要地方道御坊美山線供用開始(10月)
- ・ 国道311号(来栖川～真砂災害)仮設道路の設置(10月)

○ 高速道路整備推進のための活動等

- ・ 湯浅御坊道路(有田～御坊間)4車線化の事業化について国が発表(4月)
- ・ 第一次の高速道路ネットワーク形成に向けての提言活動を10県共同で実施(7月)
- ・ 近畿自動車道紀勢線すさみ～太地間、新宮～大泊間の計画段階評価が実施され、対応方針(案)が了承(8月)
- ・ 「大規模災害と高速道路を考えるシンポジウム」を開催(東京)(10月)
主催:近畿自動車道紀勢線建設促進協議会
(和歌山県、三重県、沿線31市町村)

○ 交通機能の充実

- ・ 関西国際空港への新規就航(ピーチ・アビエーション他)
- ・ 和歌山大学前駅(ふじと台)開業(4月)

○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所
1	(株)松源	和歌山市
2	亀宝倉庫(株)	和歌山市
3	エアウォーター(株)	和歌山市
4	原田織物(株)	橋本市
5	(株)タカショー	海南市
6	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
7	アトラック(株)	橋本市
8	恵和(株)	印南町
9	(株)NMソルト	和歌山市
10	南海化学工業(株)	和歌山市
11	劑盛堂薬品(株)	和歌山市
12	ミナベ化工(株)	みなべ町
13	(株)NTN	上富田町
14	(株)スミロン	日高川町
15	パナソニック(株)エナジー社	紀の川市
16	アイコム(株)	紀の川市
17	本州化学(株)	和歌山市
18	辻岡運輸(株)	和歌山市
19	(株)オークワ	和歌山市
20	住友金属工業(株)	和歌山市
21		和歌山市
22	和興建産(株)	和歌山市
23	太陽食品(株)	和歌山市
24	極東化成工業(株)	岩出市
25	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
26	関戸運輸(株)	和歌山市
27	ビーウィズ(株)	和歌山市
28	(株)ユアブレインズ	和歌山市
29	アドバン工業(株)	和歌山市
30	(有)久保田エンジニア	紀の川市
31	(株)ホタニ	紀の川市
32	大輪産業(株)	橋本市
33	恵和(株)	御坊市
34	(株)アルバック	橋本市
35	(株)エスアールアイ	海南市
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
37	東京製綱(株)	和歌山市
38	セイカ(株)	和歌山市
39	(株)マルテン天満屋	日高川町
40	(株)コスミックランド	白浜町

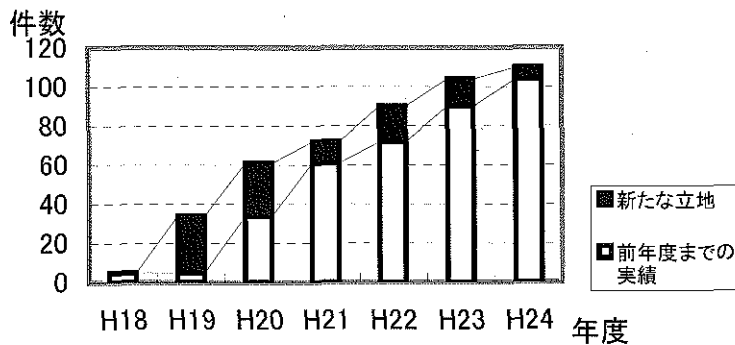
	企業名	立地場所
41	大阪富士工業(株)	和歌山市
42	笠野興産(株)	和歌山市
43	(有)コバタ総合研究所	橋本市
44	田辺金属工業(株)	田辺市
45	朝日オリコミ和歌山	和歌山市
46	(株)中井鉄工所	橋本市
47	(株)しんこう技研	紀の川市
48	旭精機(株)	橋本市
49	(株)NMソルト	和歌山市
50	木本産業(株)	有田市
51	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
52	太洋工業(株)	和歌山市
53	住友精密工業(株)	和歌山市
54	花王(株)	和歌山市
55	エアウォーター(株)	和歌山市
56	南海化学工業(株)	和歌山市
57	(株)三晃精密	橋本市
58	(株)ふみこ農園	有田市
59	(株)テクノ・アシスト	紀の川市
60	棒引製材	みなべ町
61	白光印刷	和歌山市
62	林化成(株)	橋本市
63	(株)見果てぬ夢	田辺市
64	大日本除虫菊(株)	海南市
65	共同印刷(株)	有田川町
66	花王(株) ※研究施設	和歌山市
67	紀和化学工業(株)	紀の川市
68	三菱電機(株)	和歌山市
69	日建産業(株)	御坊市
70	豊国金属工業(株)	橋本市
71	ミナベ化工(株)	みなべ町
72	(株)ニッコク	岩出市
73	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
74	(株)九重雑賀	紀の川市
75	(株)丸徳水産	和歌山市
76	ハグルマ(株)	紀の川市
77	藤本製薬(株)	御坊市
78	北広ケミカル(株)	橋本市
79	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市
80	日進化学(株)	橋本市

平成24年1月以降

	企業名	立地場所
81	スターゼン西日本販売(株)	和歌山市
82	(有)日本鮪養殖	那智勝浦町
83	(株)串本マリンファーム	串本町
84	南紀串本水産(株)	串本町
85	東京製網(株)	和歌山市
86	川口水産(株)	有田市
87	和歌山ガーデンクリエイト(株)	海南市
88	(株)ケー・ワイ・ビー	紀の川市
89	(株)イブバイオサイエンス	橋本市
90	中紀精機(株)	御坊市
91	(株)エス・ティー・ワールド	和歌山市
92	(株)赤井工作所	岩出市
93	(株)ユニカル	橋本市
94	クックスベスト(株)	那智勝浦町
95	(株)ゼネラルステッカー	田辺市
96	ナイス(株)	和歌山市
97	松林金属(株)	橋本市

	企業名	立地場所
98	(株)インテリックス	和歌山市
99	中部抵抗器(株)	紀の川市
100	富士香料化工(株)	橋本市
101	岡村製油(株)	橋本市
102	理工協産(株)	橋本市
103	(株)たにくち	日高川町
104	川本化成(株)	和歌山市
105	(株)玉林園	和歌山市
106	(株)丸阪	橋本市
107	藤本食品(株)	岩出市
108	小川工業(株)	橋本市
109	北辰精工(株)	橋本市
110	(株)フューチュレック	海南市

近年の立地件数の推移



立地件数	110件
総投資額	3,543.6億円
雇用人数	1,458人(正社員数)